

情報技術の発達による 人や社会への影響

情報の科学 第13回授業
02情報社会の問題解決
対応データ 19exp13.xlsx

情報技術の発達と人への影響

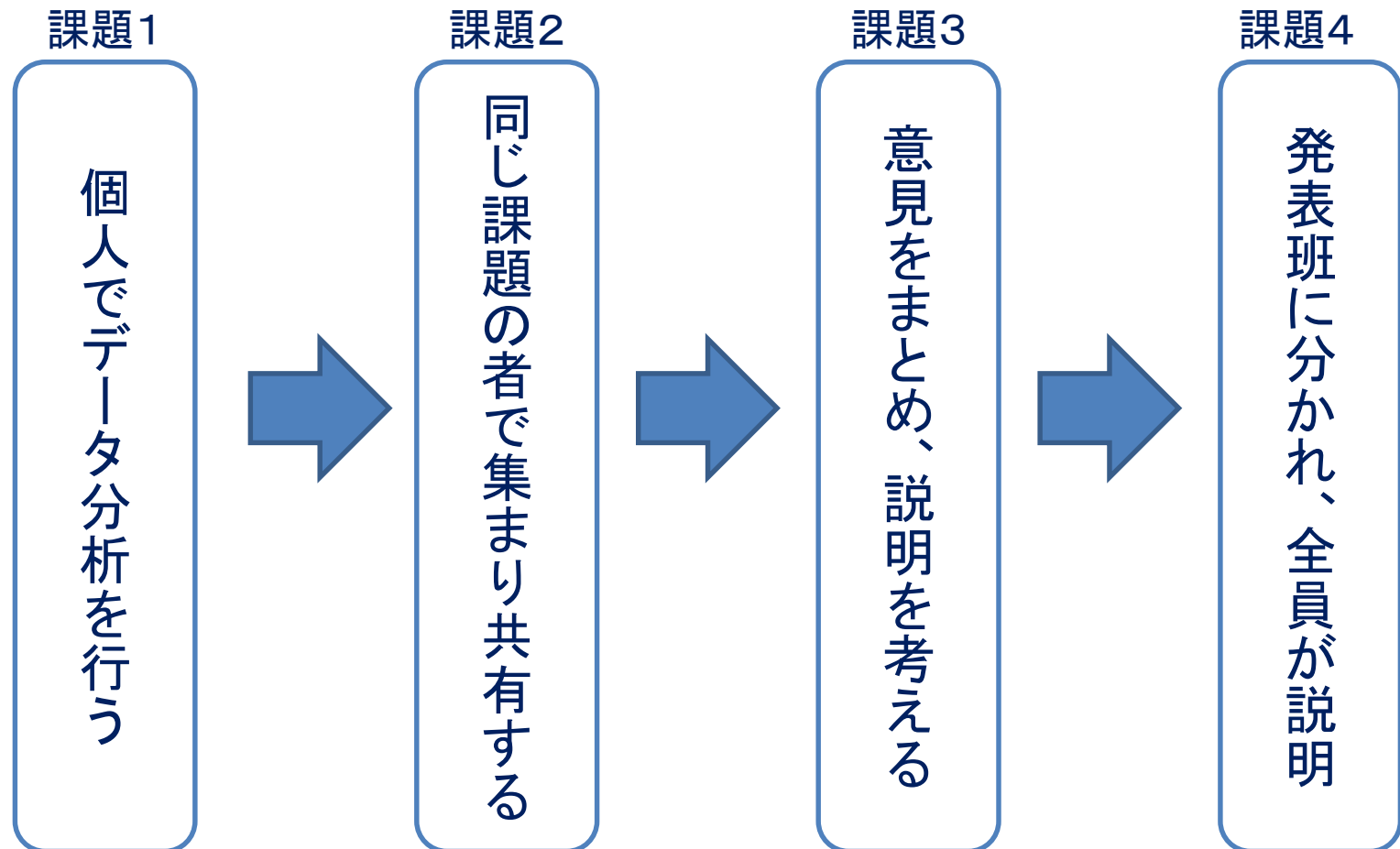
- テクノストレス
 - 不安症
 - 依存症
 - VDT症候群

情報技術の発達と社会への影響

- 情報格差
 - 経済的な理由
 - 身体的な理由
 - 情報活用能力の差
- コミュニケーション手段の違いによるギャップ
 - 情報源の違い
 - コミュニケーション手段の不一致

これから取り組む内容

- テクノストレスや情報格差・コミュニケーションギャップの実際を、データで認識する！



課題1（個人で読み解く）：5分

<個人作業>

- ワークシートの自分の担当分野について、
 - わかりやすいグラフをつくる
 - テクノストレスや情報格差等を読み取る
 - 実生活で想像されるトラブルを、できるだけ具体的に考える
 - 2つの表のうち、どちらか一方のみで良い
 - この後、グラフを見せながら30秒で発表

課題2(グループ内発表):3分

- 5人グループになり、グループ内発表する。
 - グラフを見せながら、1人30秒で説明する。
 - 聞き手はひたすら傾聴を。
 - ツッコミやコメント禁止。
 - 全員発表後、グループの意見をまとめます。

課題3 (グループ統一意見): 10分

- リーダーを中心にグループの意見をまとめる
 - まとめ方はリーダーにお任せ
 - できるだけ具体的でわかりやすい例を
 - 意思統一できたら、班員全員が同じグラフを作り1分間でわかりやすく説明ができるように
 - この後、発表班に別れ、全員が説明します
 - 時間があるようなら、全体発表もします
 - 誰に当たるかはコンピュータのみが知っている...

課題4(発表):5分

- 発表班に分かれる
- 「来て来て！ 見て見て！」方式で
- グループの統一意見を、一人1分で他の班員に説明する